

えひめ震災対策アクションプラン（案）に寄せられた意見の要旨と考え方

えひめ震災対策アクションプランの見直し案について、2月21日（金）から3月12日（木）までの期間でパブリック・コメントを実施したところ、1人から3件の意見をいただきました。

計画修正案に対する意見と考え方を、以下の表に示しております。なお、いただいた意見は、適宜集約・要約しております。

NO.	寄せられた意見の要旨	考え方
1	<p>【11 頁】 「リエゾン派遣体制の強化等」を 「<u>リエゾン(災害対策現地情報連絡員)派遣体制の強化等</u>」 としてどうか（下線部を追加）。</p> <p>【理由】 説明が無いと、分かりづらいため。</p>	<p>【修正する】 御提案の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します（下線部を追加）。 リエゾン <u>(災害時情報収集職員)</u> 派遣体制の強化等</p>
2	<p>【59 頁】 「河川堤防や水門・樋門等の耐震対策工事」を 「河川堤防や水門・樋門 <u>(堤防の中をトンネルのように通り抜ける管)</u> 等の耐震対策工事」 としてどうか（下線部を追加）。</p> <p>【理由】 説明が無いと、分かりづらいため。</p>	<p>【修正する】 御提案の趣旨を踏まえ、施策内容の記載の末尾に次のとおり樋門の説明を追加します。 （樋門：堤防を横断する埋設された水路）</p>
3	<p>【60 頁】 「陸閘改修、開口部閉塞等を行い閉鎖施設の機能を維持」を 「陸閘改修 <u>(増水時にゲート等により塞ぐ)</u>、開口部閉塞等を行い閉鎖施設の機能を維持」 としてどうか。</p> <p>【理由】 陸閘の説明が必要なため。</p>	<p>【修正する】 御提案の趣旨を踏まえ、施策内容の記載の末尾に次のとおり陸閘の説明を追加します。 （陸閘：通常時は生活のため通行できるように途切れさせておき、津波・高潮等の際にはゲート等により塞ぎ堤防の役割を果たす施設）</p>